

## 5 上肢又は下肢に障害のある方

### 主な特徴

- 移動に制約のある方もいる。  
下肢に障害のある方では、段差や階段、手動ドアなどがあると、一人では進めない方がいる。杖等の歩行補助具を用いる方や、半身麻痺によって片方の上下肢に麻痺がある方がいる。
- 文字の記入が困難な方もいる。  
手に麻痺・筋力低下・変形のある方や脳性麻痺で不随意運動を伴う方などでは、鉛筆を持つことや、狭いスペースで文字を記入することが困難である。
- 話すことが困難な方もいる。  
脳性麻痺の方の中には、発語の障害に加え、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまうため、自分の意思を伝えるににくい方もいる。

### 配慮すべき事項

- ◇ 下肢に障害のある方は、長距離の歩行が困難なため、通路等には、必要に応じ休憩設備を設ける。
- ◇ 取っ手の形状、操作方法等への配慮が必要である。
- ◇ 階段の両側に手すりを設置するなど、半身麻痺の方の使用状況を考慮する。

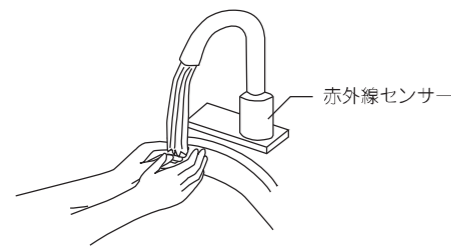
### 整備のポイント

#### □下肢障害のある方や杖を使用する方の場合

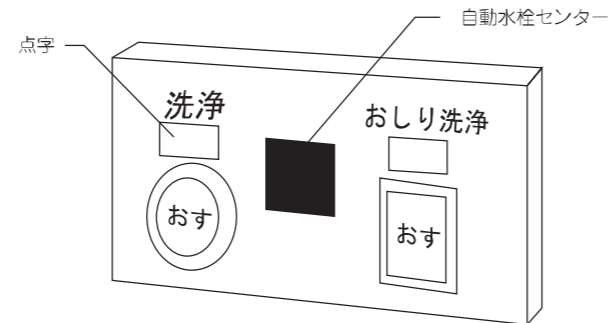
- ① 溝を設ける場合は、杖先が落ち込まないような溝びたを使用する。
- ② 廊下等は、平たんで、滑りにくい仕上げとし、不用意な段は設けない。
- ③ 杖を使いやすいよう出入口の幅などに配慮する。
- ④ 片方に麻痺がある方の移動を補助するため、必要に応じて両側に手すりを設置する。
- ⑤ 階段では、できる限り勾配を緩やかにする。
- ⑥ 必要に応じてベンチなどの休憩設備を設ける。

#### □上肢障害のある方の場合

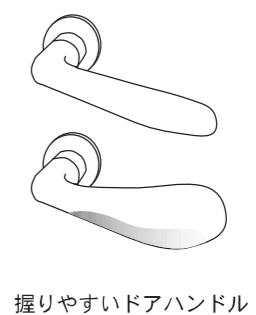
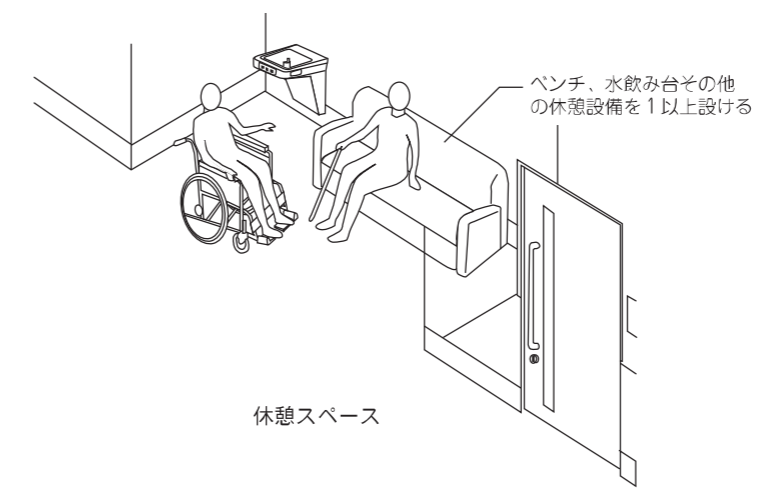
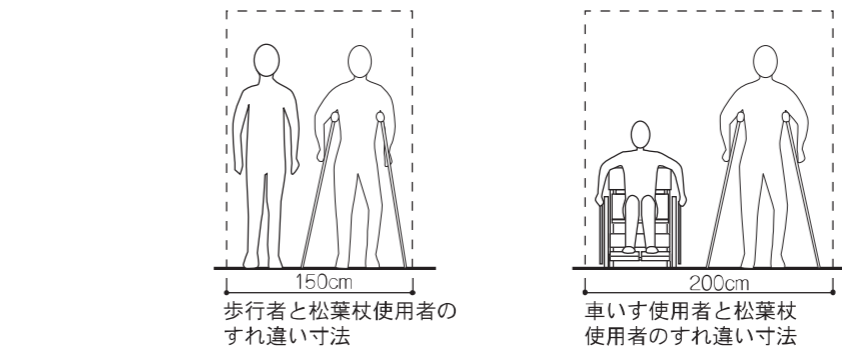
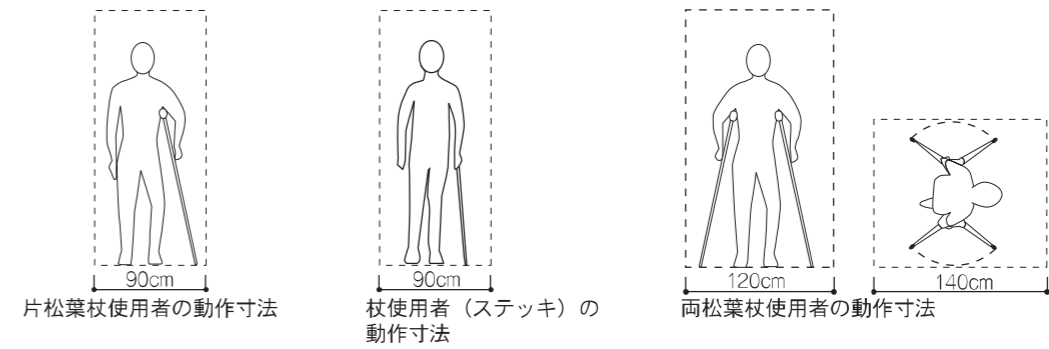
- ① 細かな指先動作が困難なので、利用しやすいレバーハンドルや取っ手を用いる。
- ② 握力が低下し、到達範囲が狭くなるので、棚などの位置や高さに配慮する。
- ③ スイッチの形状は、操作が容易な大きめのものとする。
- ④ 利用補助のため、必要に応じて手すりを設置することが望ましい。



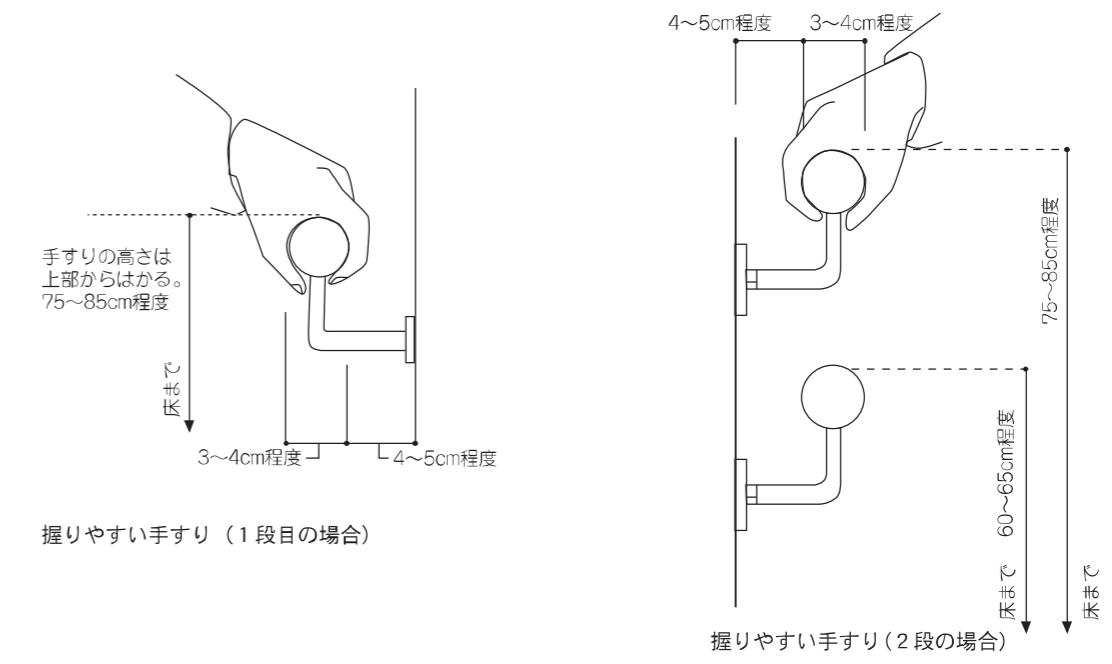
利用しやすい自動センサー付き水栓



押しやすい洗浄装置ボタン



握りやすいドアハンドル



## 6 聴覚障害のある方

### 主な特徴

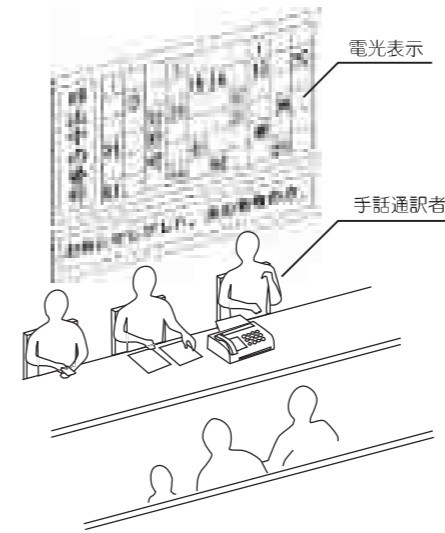
- 全く聞こえない方と聞こえにくい方がいる。  
聴覚障害の程度によって、言語障害を伴う方とほとんど伴わない方もおり、言語障害のある方は、その原因によって聴覚障害を伴う場合がある。
- 外見から分かりにくい。  
障害のあることが外見で判断しにくく、理解されにくい。
- 視覚を中心に情報を得ている。  
先天性あるいは中途の失聴又は難聴によって、音や声による情報が得にくく、文字や図などの視覚により情報を得ている。ただし、先天的な失聴・難聴と言葉を覚えた後で聞こえなくなった中途失聴・難聴者では、情報の認知・理解に大きな差がみられる。
- 声に出して話せても聞こえていないとは限らない。  
聴覚障害のある方の中には普通に話せる方と話すのに困難が伴う方がいる。普通に話せる方も、相手の話は聞こえていない場合がある。
- 補聴器をつけても会話が通ずるとは限らない。  
補聴器で音を大きくしても、明瞭に聞こえているとは限らない。相手の口の形を読み取ったり、手話、筆談、要約筆記など、様々な手段でコミュニケーションを図っている。
- 先天性の失聴者と言葉を覚えた後で聞こえなくなった中途失聴者とは、言語の認知・理解に差がみられる。
- 聴覚障害者の約8割は補聴器を使用する難聴者・中途失聴者であり、また、その7割近くが高齢難聴者である。

### 配慮すべき事項

- ◇ 非常時において、音声による警報で状況を伝えることができないことを念頭に置く。
- ◇ 情報伝達は、文字、手話、光など視覚的な情報と振動の複数の組み合わせにより行う。

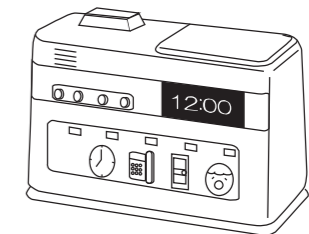
### 整備のポイント

- ① 日常のコミュニケーション手段として、電子メールやファックス、電光掲示板などの視覚による情報伝達装置を備え付けるとともに、手話通訳者や要約筆記者、触手通訳者などを配置することが望ましい。
- ② 集会施設や教室には、磁気ループを設ける。
- ③ 視覚的な情報が得やすいよう、室内は、十分な照度を確保する。
- ④ 緊急時の通報は、赤若しくは黄色の回転灯を設置する。
- ⑤ 非常警報や避難誘導灯は、視覚的に連続して設置する。

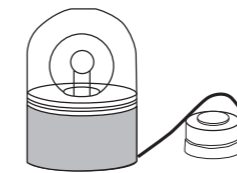


カウンター付近の文字情報の例

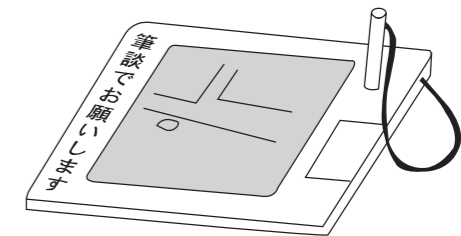
トータルアラーム（お知らせランプ）



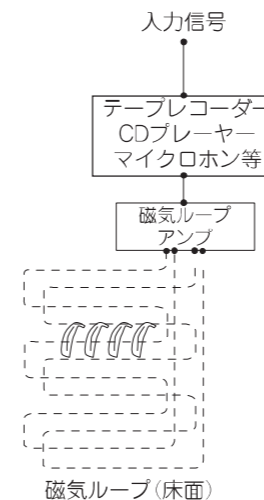
ホテル等に備え付けることが望ましい機器



回転灯



筆談器又はメモボード  
を受付窓口等に設ける



磁気ループ  
(聴覚障害者用集団補聴システム例)



難聴者・中途失聴者のマーク

★磁気ループ  
マイクの音を補聴器や人工内耳で聴き取りやすくする聴覚障害者集団補聴システムのこと。

## 7 内部障害のある方

### 主な特徴

- 外見から分かりにくい。  
外見からは障害があることが分かりにくいいため、バス等の優先席に座っても周囲の配慮が得られないなど、心理的ストレスを受けやすい状況にある。
- 疲れやすい。  
障害のある臓器だけでなく全身状態が低下しているため、体力がなく、疲れやすい状況にあり、重い荷物を持ちたり、長時間立っているなどの身体的負担を伴う行動が制限される。
- 携帯電話の影響が懸念される方もいる。  
心臓機能障害で心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方では、携帯電話から発せられる電磁波等の影響を受けると誤動作するおそれがあり、配慮が必要である。
- タバコの煙が苦しい方もいる。  
呼吸器機能障害のある方では、タバコの煙などが苦しい方もいる。
- トイレに不自由されている方もいる。  
ぼうこう、直腸機能障害で人工肛門や人工ぼうこうを使用されている方（オストメイト）は、排泄物を処理できるオストメイト用のトイレが必要である。

### 配慮すべき事項

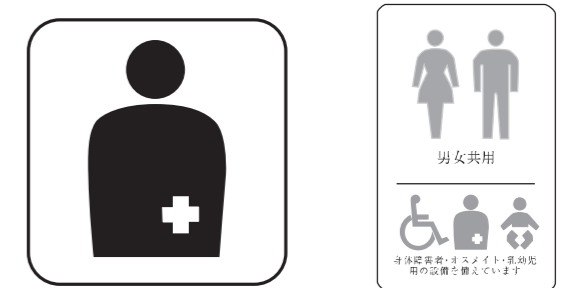
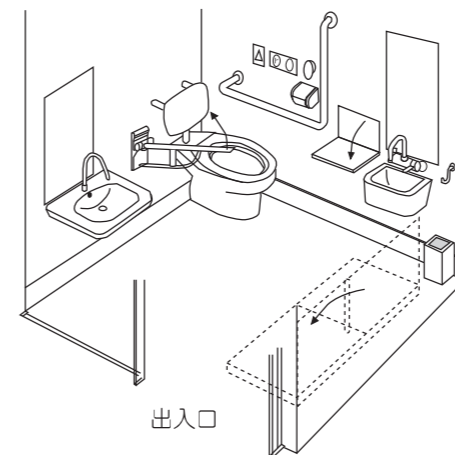
- ◇ トイレには、排泄物を処理できる機能を付加するとともに、清潔な状態を保つよう配慮が必要である。

### 整備のポイント

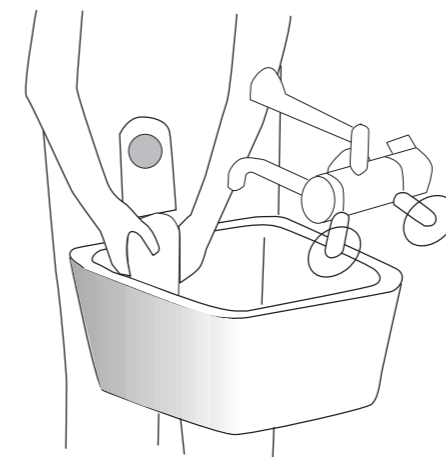
- ① 長い通路などには、ベンチ等の休憩設備を適切に配置する。
- ② トイレには、腰掛便座とともに、必要に応じ、オストメイトがパウチなどを気兼ねなく洗浄できる設備を設ける。
- ③ トイレは、着替え、洗浄に必要な広いスペースを確保するとともに、トイレ内には、パウチ交換時の汚物処理などに使用する温水シャワー設備や荷物を置く棚、洗浄したパウチやカテーテルを置く水切り棚などの設置も考慮する。  
また、非常時の呼び出し装置も必要である。
- ④ 階段では、できる限り蹴上げを小さくする。
- ⑤ 循環器系の障害や科学物質過敏症などのため、室内環境（空気浄化）の配慮が必要な場合もある。

### オストメイトが必要とする設備（日本オストミー協会HP）

設備	内容	用途
汚物流し	サーモスタット付きハンドシャワー混合栓 液体石けん容器・ペーパーホルダー	腹部の清拭・洗浄／ストーマ用装具の交換・装着／衣服・使用済みストーマ用装具の洗濯
カウンター	汚物流し台の上部奥側	ストーマ用装具・用品などを置くスペースと装着・交換のための作業用
ダブルフック	汚物流し台の脇	小物入れ用
化粧鏡	ストーマ周辺の腹部を映せる鏡	ストーマ用装具の装着用
汚物入れボックス	足踏み開閉式	使用済みストーマ用装具の廃棄など
衣服・手荷物用フック	複数のフックを設置	
収納式着替え台	汚物流しの付近にセット	服の着替え用



オストメイトに対応した設備のあることを示すサイン



オストメイトのパウチの洗浄例



- ★ 身体障害者福祉法では、心臓機能、呼吸器機能、じん臓機能、ぼうこう・直腸機能、小腸機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の6種類の機能障害が定められている。
- ★ 心臓機能障害とは、不整脈、狭心症、心筋症等のために心臓機能が低下した障害で、ペースメーカー等を使用する方もいる。
- ★ 呼吸器機能障害とは、呼吸器系の病気により呼吸機能が低下した障害で、酸素ポンペを携帯したり、人工呼吸器（ベンチレーター）を使用する方もいる。
- ★ じん臓機能障害とは、じん臓機能が低下した障害で、定期的な人工透析に通院される方もいる。
- ★ ぼうこう・直腸機能障害とは、ぼうこう疾患や腸管の通過障害で、腹壁に新たな排泄口（人工肛門）を造設する方もいる。
- ★ 小腸機能障害とは、小腸の機能が損なわれた障害で、食事を通じた栄養維持が困難なため、定期的に静脈から輸液の補給を受ける方もいる。
- ★ ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害とは、HIVによって免疫機能が低下した障害で、抗ウイルス剤を服薬している方である。
- ★ 心臓疾患が最も多く、次に腎臓疾患が多く、他の疾患に比べ増加が著しい。

## 8 知的障害のある方

### 主な特徴

- 障害のあることが外見から分かりにくい方もいる。
- 普通の話でも理解できない方もいる。
- 遠回しの言い方や曖昧な表現が理解できない方もいる。
- 相手の表情・態度やその場の雰囲気を読み取ることが苦手な方もいる。
- 順序だてて論理的に話すことが苦手な方もいる。
- 年齢相応の社会性が身につけていない方もいる。
- 同じことを繰り返し聞いたり、つじつまの合わないことを話す方もいる。
- 環境変化への適応や建築物内の空間構成の理解などが困難な方もいる。
- 文字の読み書きや意味の理解が苦手な方もいる。また、計算が苦手な方もいる。

### 配慮すべき事項

- ◇ 室内表示等は、図や絵を多用するなど、分かりやすさに配慮する必要がある。

### 整備のポイント

- ① 案内板は、ひらがなを用いるなど分かりやすい文字を使用する。
- ② 字体やデザインの統一にも配慮する。
- ③ 通路には、できる限り段差を設けない。
- ④ 機器を設ける場合は、使用目的が分かりやすく操作しやすいものとする。
- ⑤ 受付、案内では人的なサポートも心がける。

## 9 発達障害のある方

### 主な特徴

- 外見からは分かりにくい。
- 相手が言ったことを繰り返す場合は、相手が言っていることが理解できていないことが多い。
- 遠回しの言い方や曖昧な表現は理解しにくい。
- 相手の表情・態度やその場の雰囲気を読み取ることが苦手な方もいる。
- 順序だてて論理的に話すことが苦手な方もいる。
- 年齢相応の社会性が身につけていない方もいる。
- 関心のあることばかり一方的に話す方もいる。

### 配慮すべき事項

- ◇ 室内表示等は、図や絵を多用するなど、分かりやすさに配慮する必要がある。

### 整備のポイント

- ① 案内板は、ひらがなを用いるなど分かりやすい文字を使用する。
- ② 字体やデザインの統一にも配慮する。
- ③ 機器を設ける場合は、使用目的が分かりやすく操作しやすいものとする。
- ④ 受付、案内では人的なサポートも心がける。

- ★ 知的障害のある方とは、発達時期において脳に何らかの障害が生じたため、知的な遅れと社会生活への適応のしにくさがある方をいう。
- ★ 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群等の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）等、脳機能の障害であって、通常低年齢において症状が発現するものである。自閉症には、知的障害を伴う場合と伴わない場合（高機能自閉症）がある。

## 10 精神障害のある方

### 主な特徴

- 薬の副作用で、喉が渇きやすい人が多い。また、水分を多くとるため、トイレの近い人が多い。
- 些細なことで不安になったり、また、自分の意見を言えない人が多い。
- ストレスに弱く、疲れやすく、対人関係やコミュニケーションが苦手な人が多い。喫煙する人も多い。
- 外見からは分かりにくく、障害について理解されずに孤立している方もいる。
- 病気のことを他人に知られたくないと思っている方も多い。
- 周囲の言動を被害的に受け止め、不安感や恐怖感を持ってしまう方もいる。
- 障害により認知が不安定であり、しっかり理解するまで説明に時間がかかる人もいる。

### 整備のポイント

- ① 必要に応じ、冷水器を設置し、喫煙場所を確保する。
- ② トイレは、わかりやすい場所に配置する。
- ③ ベンチなどの休憩設備を設ける。
- ④ 室内は、落ち着けるような空間となるよう、広さや色彩に配慮する。
- ⑤ 施設利用には、人的なサポートも心がける。



冷水器



喫煙コーナー

- ★ 精神障害のある方とは、統合失調症、そううつ病、うつ病、てんかん、アルコール依存症等のさまざまな精神疾患により、日常生活や社会生活のしづらさを抱えている方をいう。
- ★ 統合失調症とは、幻覚、思考障害、感情や意欲の障害など、多様な精神症状を特徴とし、現実を認識する能力が妨げられ、正しい判断ができにくく、対人関係が難しくなるなど、さまざまな生活障害を引き起こす。しかし、薬によってこれらの症状を抑えることができ、以前と異なり一般の方と同様の生活ができるようになった。おおよそ100人に1人がかかる大変身近なものといわれている。
- ★ うつ病は、気分がひどく落ち込んだり、何事にも興味を持てなくなったりして、日常生活に支障が現れる。国内の調査によると、うつ病を経験している人は約15人に1人とされている。
- ★ てんかんは、通常は規則正しいリズムで活動している脳の神経細胞（ニューロン）の活動が突然崩れて、激しい電氣的な乱れが生じることによって発作が現れる病気である。薬によって約8割の方は発作を止められるようになった。

## 11 外国人、旅行者

### 配慮すべき事項

- 外国人や旅行者は、日本語や地域情報に不慣れな場合があるため、外国語や絵文字、図記号の併記が必要である。

### 整備のポイント

- ① 多数の外国人や旅行者が利用する施設では、英語、中国語、韓国語など外国語による案内を併記する。音声案内を備えることが望ましい。
- ② 文字表記に代え、絵文字などを併記するのも有効である。
- ③ 必要に応じ、休憩設備を設ける。



分かりやすい案内の例



わかりやすい案内表示例(エレベーター)



外国語や絵文字表記のある案内板